

今、この人に Interview

大津駅観光案内所 オーツリー スタッフ アンナ ジューリア ビファーニさん

イタリアで学んだ日本語を活かすため、日本で就職。
若い人と交流しながら、大津をもっと盛り上げていきたい。



■大津駅観光案内所のスタッフになったきっかけを教えてください。

大津市でも外国人観光客が増えてきたことから、観光案内所を外国語にも対応できるようにしようというプロジェクトが立ち上がりました。私は母国語のイタリア語のほか英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、日本語が話せるのでスタッフに採用され、2016年10月から働き始めました。外国人観光客は京都などと比べるとまだまだ少ないですが、大津市の魅力を伝える外国語表記のツールも増えてきたので、これから少しずつ増えていくと思います。

■なぜ日本語を勉強しようと思ったのですか？

子どもの頃日本のアニメをテレビで見て、日本に興味を持ちました。その後高校を卒業して、例えばアラビア語とかヒンドゥー語とか中国語など、アルファベットを使わない外国語を学びたいと思ったんです。そのとき日本に興味があったことや、出身地の近くに日本の研究で有名な大学があったので、その道に進むことを決めました。大学では日本語や日本の歴史、文学について勉強しました。私は本が大好きなので、村上春樹や吉本ばなななどの小説をたくさん読みました。それでますます興味を覚えるようになりました。

■いつか日本に行きたいと思っていたのですか。

そうですね。大学では3年生の間に日本に短期留学するプログラムが組まれていたので、楽しみにしていました。ただ、私が3年生の時がちょうど2011年、東日本大震災が起こった年だったんです。その影響で、日本留学のプログラムはすべてキャンセルになりました。でも日本に行きたいという気持ちが強かったので、震災の影響が落ち着いた2012年に東京の日本語学校に6か月間留学しました。

■留学したときの日本の印象はどうでしたか？

もともと日本の文化を勉強してい

たので、日本に来てびっくりしたことは少なかったのですが、一番イメージと違っていたのは、日本人があまり最新のデジタル機器を使っていないということでした。イタリアでは日本のテクノロジーが人気なので、日本人はすごく良いカメラや最新のコンピューターを使っているというイメージがあったんです。逆に古い家でもお風呂には自動でお湯が入る装置がついていたり、トイレがウォッシュレットだったり、新しいものがあります。そこが面白いなと思いました。

■大学を卒業してすぐ、日本で仕事を見つけたんですか？

イタリアで就職して働いていました。でもやはり日本で働きたいという思いがあったのと、これまで学んだ日本の文化や外国語を活かせる仕事をしたいと思い、もう一度日本に来て仕事を探すことにしたんです。

■そして見つけられたのが、今のお仕事だったということですね。大津に来られて、どう思いましたか？

私の出身地に似ています。イタリアにも琵琶湖と同じぐらいの大きさのガルダ湖という湖があります。イタリアで一番大きな湖で、湖のまわりにまちがあって歴史のあるものが残っています。風景がとてもよく似ていますね。

また、日本の東海道のような古い街道があって道沿いに古い街並みがあるところも似ています。

■他府県に比べ、大津(滋賀)がいい、と思うところはありますか？

京都は有名な観光地なので、レストランなども観光客向けのものが多いですが、大津は普通の日本があります。本当に日本らしい風景や暮らしに興味があるなら、大津はいいところだと思います。

■大津でおおすすめの場所はありますか？

今まで行ったところで一番好きなのは岩間寺です。松尾芭蕉がこの寺で一番人気のある俳句を詠んだのです。

●プロフィール●

イタリア北部パルマ市近郊の町フィデンツァ出身。子どもの頃テレビで日本のアニメに親しんだことから日本に興味を持ち、大学で日本語を勉強。2012年の大学在学中に短期留学で初来日を果たす。その後イタリアで就職したが、日本で働きたいという夢を叶えるため再来日。6カ国語ができるという特技を活かした現在の仕事を射止め、2016年10月から、リニューアルした大津駅観光案内所「オーツリー」で勤務している。

「古池や 蛙飛び込む 水の音」という句です。毎月17日に石山駅からシャトルバスが出ていますが、それ以外の日は最寄りのバス停から歩いて1時間ほどかかります。でも、その1時間のウォーキングが気持ちいいですね。松尾芭蕉に興味のある人は、大津に来ると義仲寺と幻住庵、岩間寺を訪れます。

■イタリアと大津では、観光の面でどんなところが違うでしょうか。

イタリアでは、若い人も地元を守りたいという気持ちがあって、たくさんの若者が観光の仕事で働いています。大津の歴史は私も勉強中ですが、若い人は町家の話など、歴史について知らないことが多いです。私はイタリアにいるとき、学校でよく街歩きをして歴史の話の話を聞きました。若い人に、まず街の歴史を教える、知ってもらいたいことが大切ではないでしょうか。

■これから、どんな思いでお仕事に取り組んでいかれますか？

観光に関わる若い人が少ないので、このまま大津のいいものが知られないまま埋もれてしまうのでは、と心配しています。大津駅観光案内所が新しくなり、若い人の集まれるお店もできました。そこで日本の若い人と、大津のことなど、たくさん話をしたいなと思っています。また、大津のいいところを見つけて、どんどん紹介していきたいです。